

---

越境人材  
—産学を越境する実務家教員  
の役割について—

2023年12月20日

法政大学大学院政策創造研究科 石山恒貴

# 石山恒貴(いしやまのぶたか)

NEC、GE、外資系ライフサイエンス会社を経て現職、法政大学大学院政策創造研究科教授、博士（政策学）



---

# 越境学習とはなにか

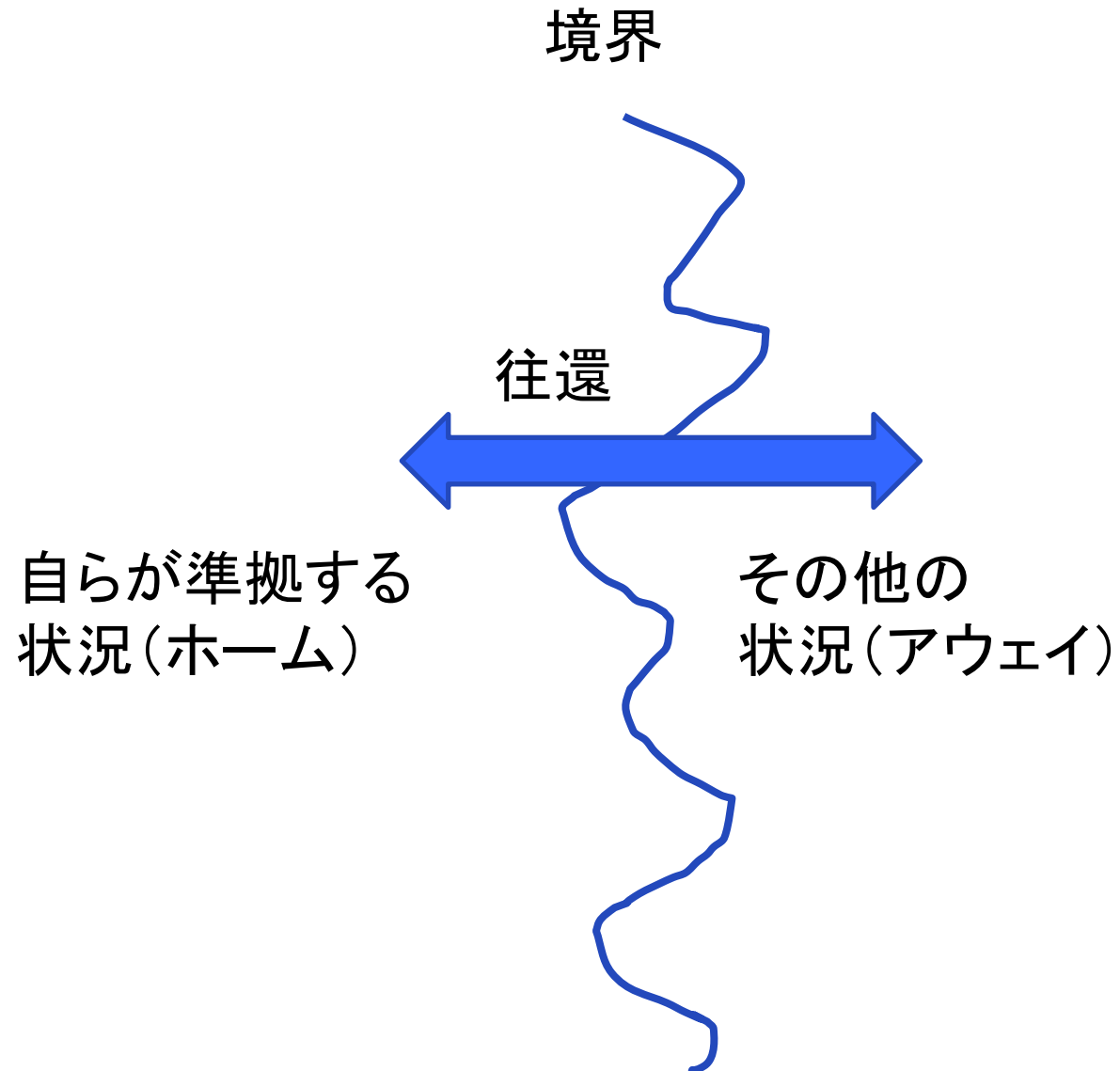
## 人は誰でも越境学習者（みんなの越境学習）

---

- ◆ 人は誰でも、固定観念に囚われる可能性
- ◆ 人は誰でも、固定観念を打破できる
- ◆ 葛藤して、固定観念を打破する学びは楽しい

- ◆ 2020年度の経済産業省の越境効果の見える化プログラム（クロスフィールズ、ローンディール、ETIC.、エッセンス）
- ◆ 40名以上にインタビュー
- ◆ 2021年度の10数回の編集会議
- ◆ プロジェクトにとどまらない、越境学習の全体像、冒険というコンセプト
- ◆ ありそうでなかった、全体像の入門書

# 越境（ホームとアウェイの往還）



## 越境学習とはなにか

- ◆ 冒険（わくわく、ドキドキ）のメカニズム
- ◆ 企業主導（留職、レンタル移籍、ワーケーション、プロボノなど）と個人主導（副業、ボランティア、育児休職、マンションの理事会、ワーケーション、プロボノなど）
- ◆ 上下関係のなさ×異質性（葛藤）×抽象度（もやもや）→行為主体性（エージェント）の醸成、固定観念の打破
- ◆ 経験学習＝専門の熟達、縦の糸
- ◆ 越境学習＝熟達の意図的な停止、現状の前提と固定観念の打破、横の糸

# 生徒エージェンシー

- ◆ 目標を設定し、リフレクションし、責任をもって変化を起こす能力。
- ◆ 人格的特性（トレイト）ではなく、学習できる
- ◆ 単なる自律性でも、社会的孤立でもない
- ◆ 単なる個人的な興味の追求でもない
- ◆ 責任をもって社会に参加し、人に影響を与え、環境をより良くしようとする感覚

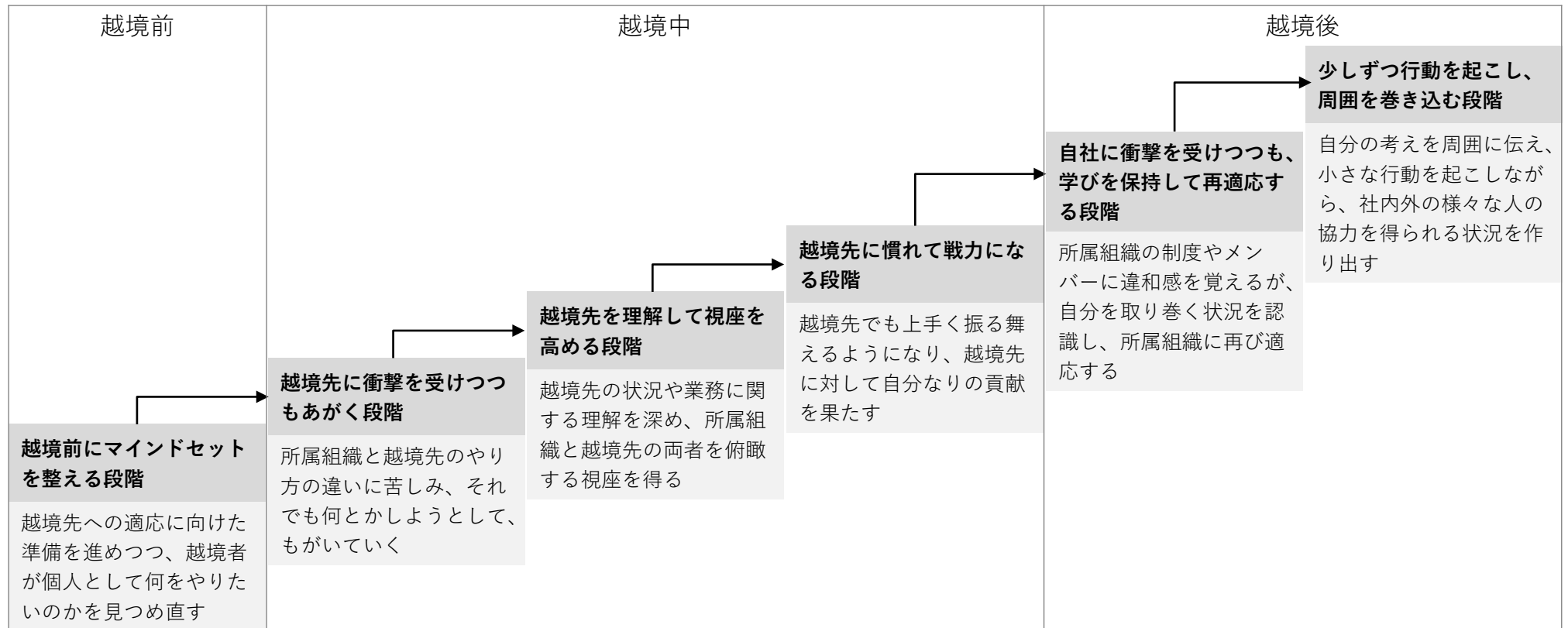
出所) OECD Future of Education and Skills 2030 Conceptual learning Framework STUDENT AGENCY FOR 2030

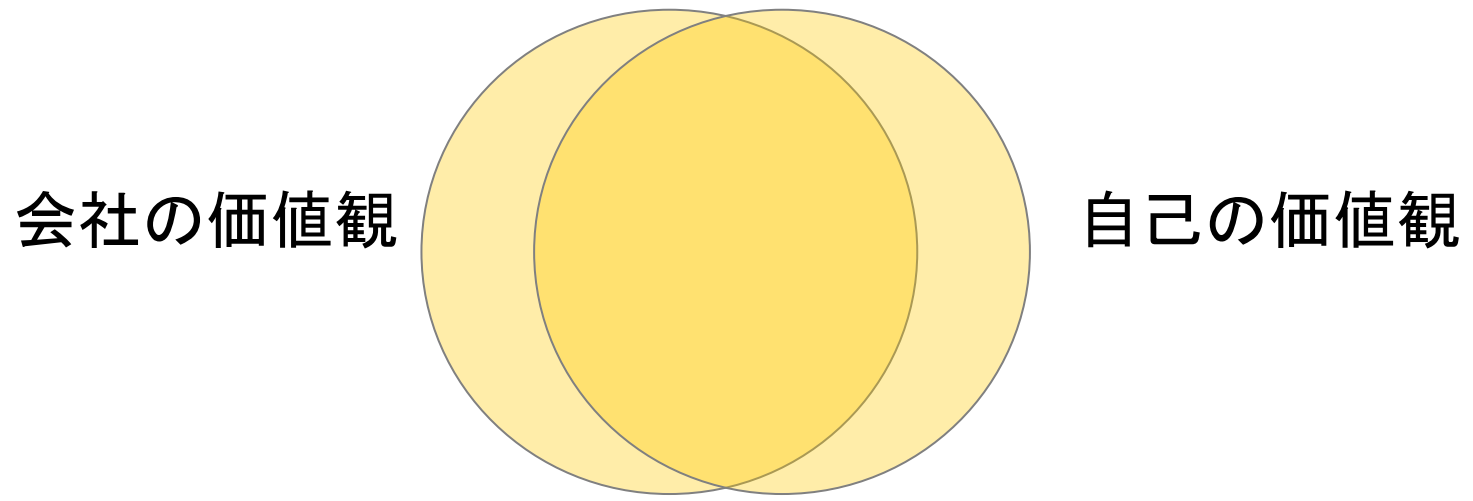
[https://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning/student-agency/Student\\_Agency\\_for\\_2030\\_concept\\_note.pdf](https://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning/student-agency/Student_Agency_for_2030_concept_note.pdf)



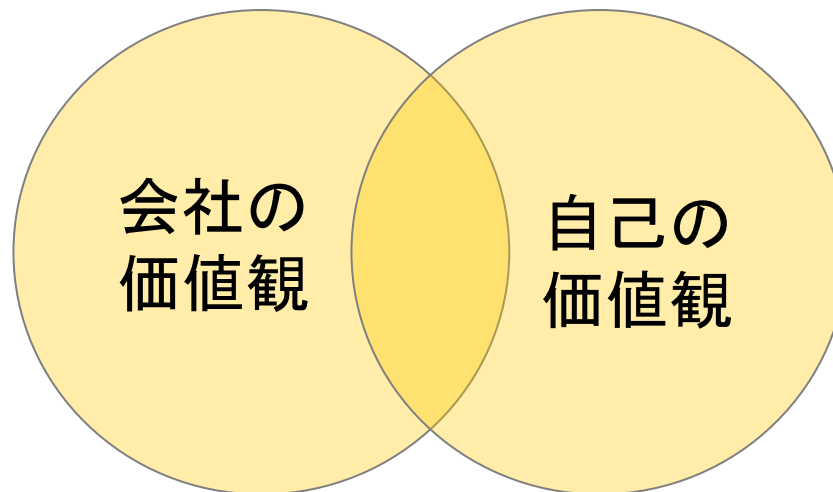
# 越境学習のプロセス

- ルーブリックの次元を参考にすると、越境学習を通じた学びは次のように整理できます

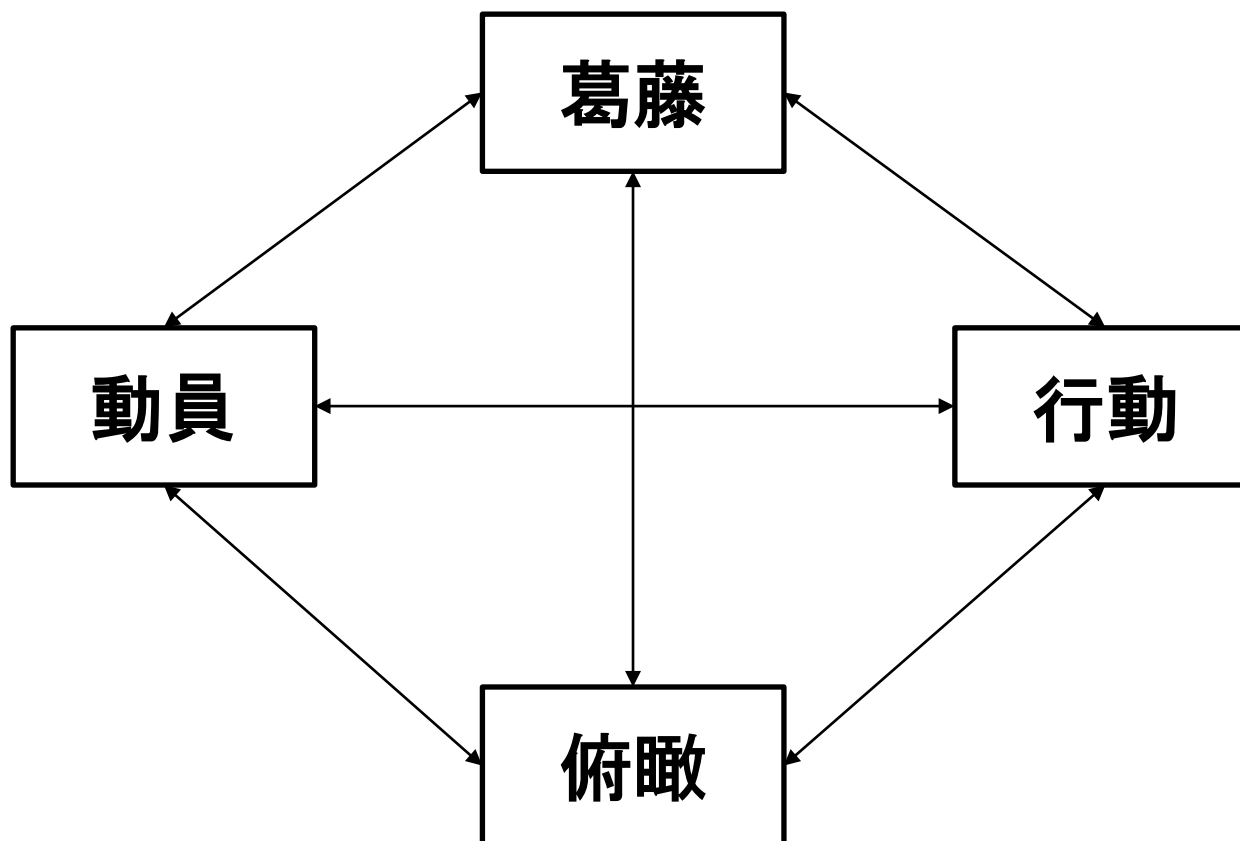




価値観の引き剥がし



# 越境学習者のアイデンティティ変容の相互作用プロセス



# 経営の実行力 vs イノベータの5つのスキル

## 経営幹部の4つの実行力

- ◆ 分析力
- ◆ 企画立案力
- ◆ 行き届いた導入力
- ◆ 規律ある実行力

## イノベータの5つのスキル

- ◆ 関連づけの力  
(関連づけの認知的スキル)
- ◆ 質問力  
(現状に異議を唱える質問)
- ◆ 観察力  
(新しいやり方の観察)
- ◆ ネットワーク力  
(多様な背景の人々と幅広く)
- ◆ 実験力  
(新しいアイデアを試す)

# イントラパーソナルダイバーシティ（個人内多様性）

## ◆表層ダイバーシティと深層ダイバーシティ

- ✓ 表層→認知しやすい属性：性別、年齢、テニユアの有無、教育水準など
- ✓ 深層→認知しにくい属性：性格、価値観、タスク、知識、経験など

出所：坂爪洋美・高村静(2020)『管理職の役割』中央経済社

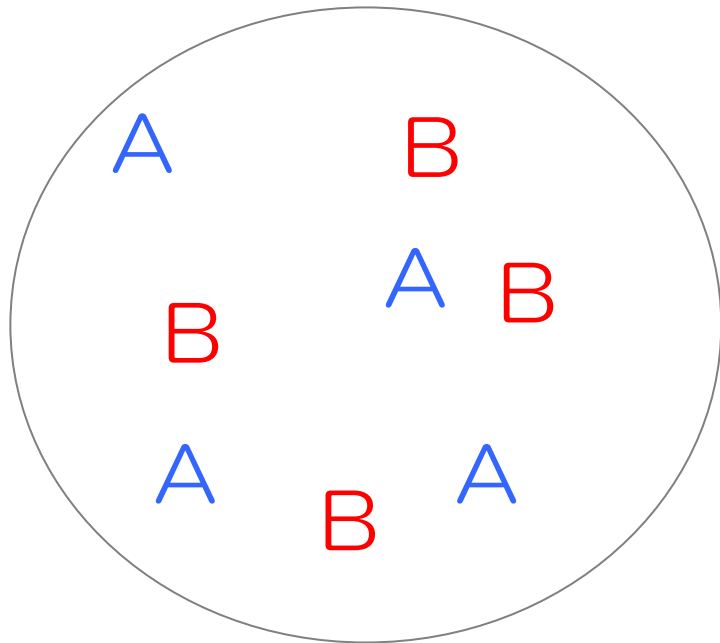
## ◆イントラパーソナルダイバーシティ

- ✓ 「これまで検討されてこなかった、個人内の多様性。組織のメンバーが、それぞれ自分の中に、相容れない信念と価値をもっている」  
(p.365)

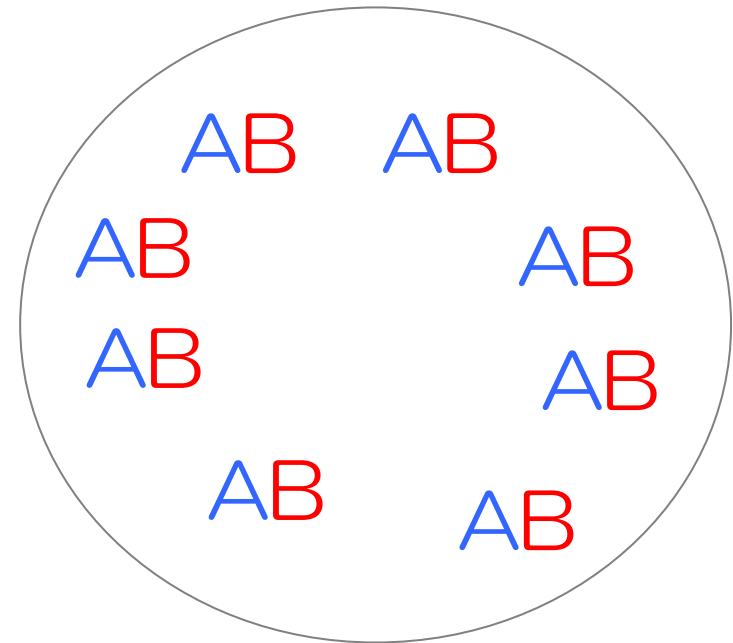
## ◆イントラパーソナルダイバーシティは、組織の創造性に寄与する可能性がある

出所：Corritore, M., Goldberg, A., & Srivastava, S. B. (2020). Duality in diversity: How intrapersonal and interpersonal cultural heterogeneity relate to firm performance. *Administrative Science Quarterly*, 65(2), 359-394.

# インターパーソナルとイントラパーソナル



インターパーソナル



イントラパーソナル

出所: Corritore, M., Goldberg, A., & Srivastava, S. B. (2020). Duality in diversity: How intrapersonal and interpersonal cultural heterogeneity relate to firm performance. *Administrative Science Quarterly*, 65(2), 359-394, Figure 1, p367.

- ◆ 学問知と実践知をどう融合するのか、自分なりの見解が必要
- ◆ その融合のやり方に正解はないし、葛藤と矛盾を味わうことが必要
- ◆ 2つの矛盾する価値観を内在化させたまま、アイデンティティの揺らぎを受容していく

---

# 成人学習と社会人大学院



# 成人学習理論のルーツ

- ◆ ノールズ
- ✓ アンドラゴジー (andragogy) 「おとなの学習を援助する技術と科学」
- ✓ ペダゴジー (pedagogy) 「子どもを教える技術と科学」
- ✓ おとなは自己決定的
- ✓ おとなは多様な経験をしている
- ✓ おとなは発達途上の移行期にいるときに、いっそうすすんで学習する
- ✓ おとなは問題中心的、作業中心的な学習を好む

出所: パトリシア・A・クラントン著 入江直子・豊田千代子・三輪健二翻訳 (1999)  
『おとなの学びを拓くー自己決定と意識変容』鳳書房

## 9つの学習段階（ペリー）

（研究者をめざす）学習者は

1. 正誤や善悪という観点で見る
2. 正しい答えがあると信じる
3. 見解の違いは一時的
4. 研究方法に正解はない、見解は自分でつくる
5. 状況に応じて知識や価値観を理解
6. 決断する必要性を知る
7. 領域における強い信念を確立
8. 強い信念の責任を実感する
9. 研究に関するアイデンティティを確立する

# 社会人大学院で身につく能力

1. 多様で広い視野
2. 問題発見と解決
3. 批判的考察
4. 物事の本質をとらえる
5. 事実を解釈し、独自の知見を生む
6. 論理的に文章を書く
7. チームをまとめ、動かす
8. 自分自身を客観的に見ることが出来る

出所) 齊藤弘通(2012)「企業の中堅社員・ミドルマネジャーにとっての社会人大学院の意義と社会人大学院発展に向けた課題：国内MBAにおける社会人教育を中心に」法政大学大学院  
博士学位論文

# 法政大学大学院政策創造研究科

- ◆ 2008年4月「地域づくり大学院」として新設
- ◆ 学部を持たない独立大学院、年間4期制
- ◆ 社会人を主な対象とし、平日夜間と土曜日に開講
- ◆ 研究法、調査法、分析手法、ライティングなど論文作成に必要なスキルの実践的な指導
- ◆ 社会人学生の利便性を高めるサポート（市ヶ谷立地、長期履修制度（最長4年）、夜間・土曜開講等）
- ◆ 専門実践教育訓練給付制度の対象プログラム
  
- ◆ 自らの問題意識を踏まえ、研究で明らかにしたい問い（リサーチクエスチョン）を構築する力
- ◆ 仮説を立て、データをもとに論理的に検証していく力
- ◆ 独自の分析視点を設定し、新たな知見を生みだす力
- ◆ 論理的に文章を書く能力

- ◆ ビジネスロジック（正解とKPIと効率）が全てではないことを、うまくアンラーニングしてもらうことが重要
- ◆ 年齢と社会的地位に基づくコミュニケーションをアンラーニングして、フラットなコミュニケーションに慣れてもらうことが重要
- ◆ そのためには、今までの経験では手も足もでないアウェイに身を投じることが効果的

---

# 越境學習事例

- ◆ 学習コミュニティ『ノンプロ研』を用いた越境学習支援プロジェクト
- ◆ ノンプロ研＝越境学習を意識したオンラインのコミュニティ
- ◆ 孤独なノンプログラマーが集まり、場所や時間の制約がなく場をつくる
- ◆ 職場での実践もある
- ◆ 経営者、普通の社員も集い、SNSも駆使し振り返り、伴走者の機能も内包しながら、コミュニティとして成長していく＝越境学習理論のもとである実践コミュニティ

# 地域の越境学習

- ◆ 国内留職（NPO法人クロスフィールズ）
- ◆ 2020年度リーダーズ・キャリア・サミット TEX 南相馬、釜石（株式会社ファーストキャリア）
- ◆ Field Academy（株式会社Ridilover）
- ◆ チェンジ・メイカー育成プログラム（学校法人立命館東京キャンパス）
- ◆ 事業創造型／人材育成型ワークショップ（株式会社パソナJOB HUB）

出所)経済産業省「未来の教室」事業 <https://www.learning-innovation.go.jp/recurrent/>

- ◆ machimori（課題先進地“熱海”の実践型研修）

出所)<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000101423.html>

- ◆ ラーニングワークショップ（JMAM）

- ◆ 岩手、新潟、神奈川、福井、鳥取、和歌山、高知

出所)JMAMのラーニングワークショップ <https://hatarakikata.design/>

- ◆ 社会課題解決プログラム（一般社団法人ALIVE）

出所)ALIVEホームページ <https://www.alive0309.org/>

- ◆ ヌーラボ リゾートワーク（東川町、佐渡、宮古島）

出所)ヌーラボ

<https://nulab.com/ja/blog/tag/%E3%83%AA%E3%82%BE%E3%83%BC%E3%83%88%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E5%88%B6%E5%BA%A6/>



# 淡路島・洲本市のドラゴンクエスト記念碑



# 洲本市（淡路島）の域学連携とクエストカレッジ

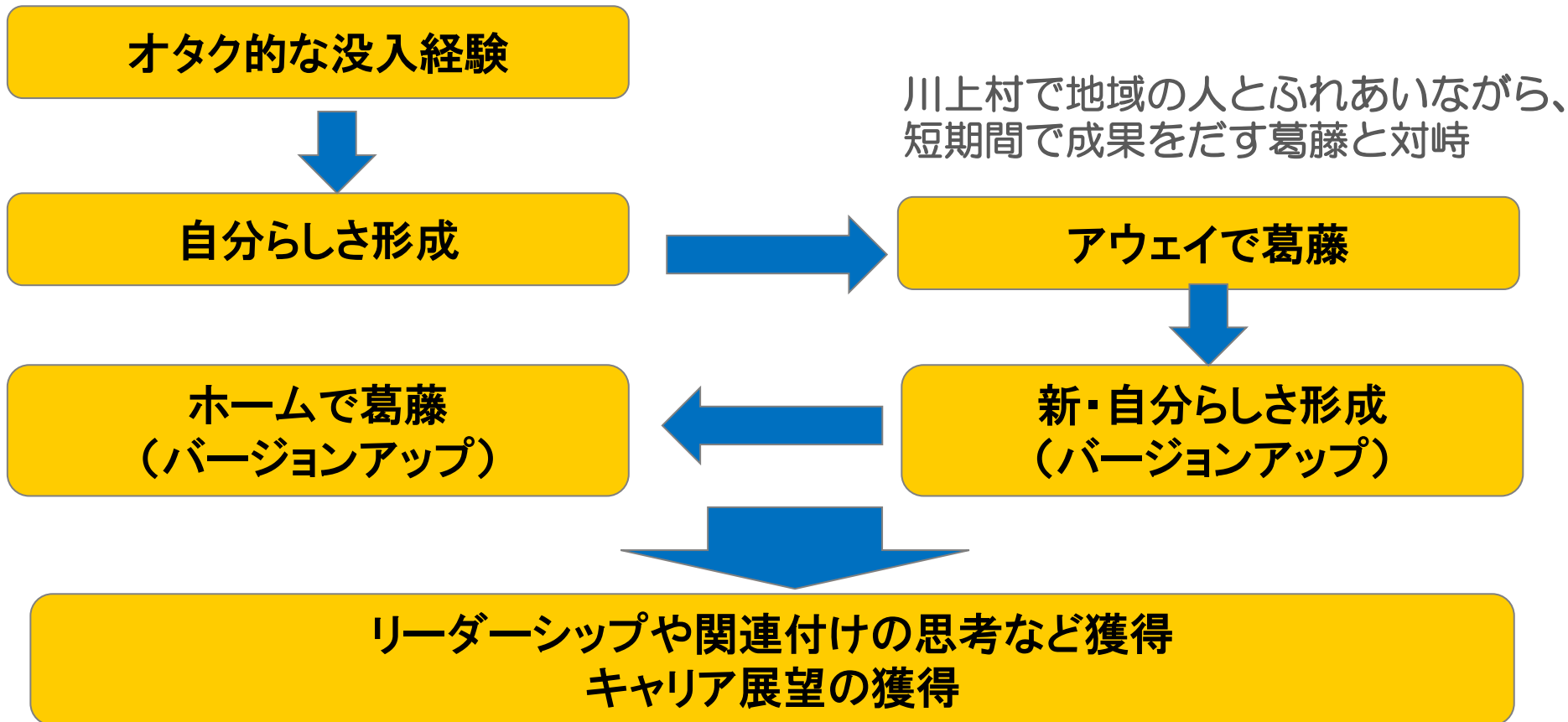
- ◆ 学生主体の取り組みは、学生の冒険（自分の小さな物語を考えていく旅）
- ◆ その学生が、地域の面白い人たちとつながる。地域側の人たちも、学生と出会い、新しい発想生まれる
- ◆ 「バンカランカ」という言葉は、冒険が始まる魔法の言葉
- ◆ クエストカレッジは、越境学習のクエスト（探究する）＝冒険という言葉をもさらに進化させ、10年以上の域学連携のコミュニティをもさらに発展させる

# 大学生における越境学習モデル（奈良県川上村スタディーツアー）

## 大学生版・冒険する力

ホーム（正課）

アウェイ（課外活動）



出所) 見館好隆・小野憲史・渡邊文枝・藤川大祐、「越境学習が大学生のキャリア形成に寄与する可能性の検討—「奈良県川上村スタディーツアー」の事例を用いて—」、『第29回大学教育研究フォーラム発表論文集』、pp.48、オンライン、2023/3、図1を加筆

# 教育、授業における越境学習事例

- ◆ 日本語教育者をめざす大学院生のオーストラリアでの教育実習→ 国、生活環境、言語、大学文化、座学から実践的なコミュニティへと越境し、参加学習の重視という、学習観・教育観の変容を経験

出所) 福井なぎさ. (2019). 海外での教員養成・教育実習の実践と課題——オーストラリアの現場から——. 日本語教育, 172, 48-61.

- ◆ 越境的な教育実践コミュニティが高等教育質保証に有効
- ◆ 「ヨロイをぬぐ」というパターン・ランゲージ→専門分野や所属組織が違う＝悩みを素直に相談しあえる

出所) 長田尚子, 神崎秀嗣, 町田小織, 高尾郁子, & 田中浩朗. (2021). 越境的教育実践コミュニティにおけるパターン・ランゲージ開発の試み. 日本教育工学会研究報告集, 2021(4), 33-40.

- ◆ 難民日本語教育の「専門家」としての自分」を見出す
- ◆ 「ボランティアとしての自分」「難民を対象とした教育実践者としての自分」「大学教員・研究者としての自分」と自己内対話する（異なる価値観の統合）

出所) 伴野崇生. (2023). 難民を対象とした日本語教育実践者の自己形成・成長過程における自己内対話 Auto-TEM 分析結果を基にした「対話的自己」による考察. 東京医科歯科大学教養部研究紀要, 2023(53), 95-112.

---

# まとめ

## 越境学習と実務家教員

- ◆ 越境学習は冒険であり、特別な人のものではない
- ◆ 冒険は、ドキドキだがワクワク。面白く、自ら学びたいという願いをかなえる学びが越境学習
- ◆ 高等教育の学生のPBL、アクティブラーニング、域学連携、インターンシップなどを推進する手がかかりになる
- ◆ 実務家教員自身のアイデンティティをつくりあげていく効果がある（悩みを相談できるコミュニティづくり、学問知と実践知という異なる価値観の自己対話、学習観・教育観の変容）



- ◆ 越境は10割バッターでなく、1割バッターで（効率至上主義ではない、越境学習ではビジネスロジックのコスパ追求できない）
- ◆ 越境学習とは、何を学ぶかよりも、何になりたいかという学び（アイデンティティの変容）
- ◆ そのため、越境の学びを振り返っていくことが重要